

一般質問通告書

下記の件について、質問いたしたく通告いたします。

令和6年11月21日

多摩市議会議員 しらた 満

多摩市議会議長 三階 道雄 殿

質問項目

- 働き続けられる自治体へ
- 学校施設の改修と改善について

答弁者

市長・教育長等

受付	令和 年 月 日	No.
	午前・午後 時 分	

項目別質問内容

1 働き続けられる自治体へ
近年、各種メディアでも取り上げられておりますように、自治体職員の早期退職者が全国的に増加しております。
人口減少社会の問題点として少子高齢化、生産年齢人口の減少、出生数の減少が続いていけば、地方自治体では今までのように計画に沿って職員の採用ができなくなる時代に近づいています。
総務省が毎年実施している地方公務員の退職状況等調査では、教員や警察などを除く一般行政職のうち、2022年度に自己都合による退職者数は全国で1万2501人、2013年度は5727人、約10年で2.2倍となっています。
報道によりますと、増えた原因は待遇への不満や業務量の増加などが影響しているとのことです。自治体職員は、住民サービスの土台であります。若手職員が辞めていくことにより行政の経験や知識の継承が途絶えてしまい、市民サービスの維持向上や組織力が衰えていくことが懸念されます。
そのほかの調査では、定年や懲戒免職、死亡、国・他自治体への出向などを除く普通退職者の人数は、2021年度は1万500人で初の1万人を超えました。
2022年度を年齢別で見ると30歳未満は4244人、2013年度比では、2.7倍となり30歳以上40歳未満が4173人います。2013年度比では、3.1倍となり若手職員の退職者の増加が明らかになりました。
多摩市では平成26年3月に「定員適正化計画」を策定し、令和3年3月には名称を変更して「定員管理計画」を策定、令和5年度から8年度までを「第4次定員管理計画」として策定しました。地方公務員法の改正により、令和5年度からは高齢期の職員が増加して行くことが見込まれています。多摩市の人事行政の現状と課題について以下、質問いたします。
(1) 多摩市での早期退職者の人数で、一般行政職、令和3年、4年、5年の20代、30代、40代の退職者数と離職率について伺い、これについて行政経営にどのようなリスクがあるかを伺います。そして市民にはどのような影響を及ぼすかを伺います。
(2) 採用に関する現状は、採用予定数に対して実際に採用できた人数の状況(令和3年、4年、5年)について伺い、この状況についてどのように把握し分析されているのか伺います。
(3) 一般技術職種の人材確保の状況と現状の課題を伺います。
(4) 多摩市定員管理計画・令和5年3月更新版1の(2)本市における定員管理計画より抜粋、「意欲と能力のある高齢期の職員が養ってきた多様な専門

項目別質問内容

<p>知識や経験について積極的に活用できる環境を整備する」とありますが、この環境整備の現状と活用事例を伺います。</p>
<p>(5) 人事院は、健康管理体制の充実のため、Well-being 調査を実施しました。職員の Well-being 向上につながる健康管理について多摩市のご認識と取組みについて伺います。</p>
<p>2 学校施設の改修と改善について</p> <p>多摩市の各学校では、ESD や英語教育、東愛宕中でのチャレンジクラス設置や開校を目指す学びの多様化学校など、学校教育は成果を上げている一方で、一定以上の予算の必要な施設の改修には腰が重く、保護者や市民はもとより、教育の対象となる子ども達からも要望が出ていると聞きます。</p> <p>こうした現状を踏まえて、教育環境の改善のために以下、伺います。</p>
<p>(1) 市長は先の 11 月 11 日に行われた総合教育会議において、「小学校体育館へのエアコン設置」について、教育委員会からの要望を受けて、どのような回答をされたのか、伺います。</p>
<p>(2) 現在、教育委員会で体育館の断熱方法を含めたエアコンの設置について研究を進めていると聞きますが、その進捗状況について伺います。</p>
<p>(3) 学校の教室環境では、エアコンの効果を上げるためには窓からの日光の遮熱や遮光が効果的ですが、第一小・第二小・連光寺小・東寺方小などでは、マイクロプラスチックとして飛散しやすい化学繊維のサンシェードを付けて温度計測などを行って児童がその効果を保護者や地域に向けて発表していると聞きます。ESD を推進する教育委員の許可や教育委員会主導で進めているのか、伺います。</p>
<p>(4) 校舎や施設のバリアフリーについては、大規模改修や建て替えに際して行えると思いますが、計画の中で、今後予定がある小学校では第三小、中学校では東愛宕中や多摩中の児童や生徒や教職員からはどのような要望がこれまで出ているのか、伺います。</p>
<p>(5) 学校の建替えや改修については、国は他の施設との複合化や合築などの方向で支援や補助を進めていると聞きますが、今後の方向性としての学校施設の指針やガイドラインなどを踏まえ、多摩市の考え方はどのようなものか、まちづくりやアセットマネジメントの視点から、伺います。</p>

項目別質問内容

(6) 東愛宕中のあたご Space は、東京都の教育長が直接視察に来たり、市内外で話題になるなどその成果に対して、車椅子などの肢体不自由などがある不登校生徒には対応できず、施設面では課題があります。
今後の学びの多様化学校をバリアフリーの点からどのように考えているのか、伺います。

資料要求欄 (資料要求がある場合は、以下に記入してください。)

①

②